

平成22年度 第2回太田地域協議会会議録

1. 日 時

平成22年7月28日(水曜日)午後1時30分～

2. 場 所

太田庁舎「会議室」

3. 会議の次第

(1) 開会

(2) 会長あいさつ

(3) 支所長あいさつ

(4) 議題

会議録署名委員の指名について

(5) 協議

1) 大仙市総合計画後期基本計画の説明について

2) 平成22年度の「市への提言」について

3) 地域枠予算執行状況について

4. その他

太田交流の森のライトアップについて

今後の事業計画(予定)について

5. 出席者氏名

(1) 出席委員(11名)

石崎 尚、大信田孝文、大信田康雄、草薨 太郎、
倉田 良子、高貝 恵子、鷹觜 信行、高橋 文子、
田口 誠毅、野中シゲ子、福原 榮司

(2) 本庁企画部(1名)

総合政策課政策調整班主幹 五十嵐秀美

(3) 事務局(4名)

太田総合支所長 鈴木 成人 地域振興課長 大信田英夫
地域振興課主幹 高橋 正由 地域振興課主査 高橋 隆伸

6. 欠席委員(7名) 大信田弘喜、木元菜穂子、小松 淑、鈴木 弘之、 高橋清一郎、藤澤由希子、藤原 鈴司

7. 会議録

(1) 開 会

大信田地域振興課長

本日はお忙しいところ御出席くださいまして誠にありがとうございます。定刻となりましたので、ただいまから平成22年度第2回太田地域協議会を開会いたします。

はじめに会長からごあいさつをいただきます。大信田会長お願いします。

大信田会長

【あいさつ】

あまり良い話題が多くないご時勢であるが、太田中学校の野球部が全県大会で準決勝に進出したというたいへんな朗報が届いた。ぜひがんばっていただきたい。

本日は、貴重なお時間を割いていただき、ご出席いただきましてありがとうございます。委員の皆さんの活発な協議をお願いします。

大信田地域振興課長

続いて、鈴木支所長がごあいさついたします。

鈴木支所長

【あいさつ】

協議会会長からもありましたが、太田中野球部が全県大会のベスト4に進出しました。出場は3年連続となりますが、過去の最高成績に並んだということで、今後も勝ち進んでいただき、地域に元気を与えてほしいと思います。

大仙市は合併して6年目を迎えているが、市の主要課題は3つ挙げられています。

1つ目は仙北組合病院の改築についてであります。市街化再開発事業によりジョイフルシティー跡地に建設予定であり、医療・福祉健康及び通行の非常に便の良い施設を建築し、市街地の活性化につなげるといったことのようにです。

2つ目は農業政策であり、今年から始まる戸別補償制度の国県とあいまって進めるとのことです。

3つ目は昨年から取り組んでいる経済・雇用活性化対策事業についてであります。昨年度に引き続き今年度も積極的に事業展開することです。

太田地域の主要事業については、昨年度末にご説明していますが、新たに補正予算で太田南小学校体育館の耐震補強工事が計上されています。

また、まもなく立教大学野球部が合宿に入りますが、それに伴って球場のバッティングゲージの更新、太田交流プラザの照明改修、さらに支所のトイレ洋式化工事も補正予算で施工する予定です。

太田地域は旧町時代から各種補助制度を活用し、施設整備にあたってきました。他の地域に先立って整備してきてグレードも高い施設が多いと認識していますが、経年の劣化等により破損もだいぶ見られるようになってきましたので、地域協議会のみなさんからも今後の進捗・維持管理の方向性についてご協議いただきたいと考えています。

大信田地域振興課長

それでは、本日の案件に入りたいと存じます。本日は委員の2分の1以上が出席していますので、本地域協議会は成立いたしますことをご報告します。条例の規定により大信田会長に会議の進行をお願いします。

大信田会長

協議に入る前に本日の会議録署名委員を指名させていただきます。大信田孝文委員、草薨太郎委員をお願いします。

それでは、協議の1点目の「大仙市総合計画後期基本計画」について本庁のほうから説明に見えておりますので、よろしく申し上げます。

総合政策課

五十嵐主幹

【後期基本計画・実施計画策定に係る説明】

総合計画の体系「基本構想・基本計画・実施計画」

計画策定の基本的な考え方

今後のスケジュール 等

大信田会長

委員の皆さんから、何かご質問等はありませんか。突然何かといわれても難しいかもしれませんが、後ほど支所を通じてでも質問はできるものと思いますので、これでこの協議事項を終了します。なお、総合政策課の担当の方はこれで退席されるようですので、ご了承ください。どうもありがとうございました。

大信田会長

次の案件の「平成22年度市への提言」に入ります。事務局から説明をお願いします。

事務局：高橋主査

【提言提出に係る説明】

提出までのスケジュール

参考とする資料説明

平成20年度の各地域からの提言・回答

平成22年度太田地域主要課題調整会議(スプリング・レビュー)

市道横沢バチ沢線の整備について

太田地域観光拠点施設改修について

大信田会長

ただいまの説明について、ご質問等ございませんか。昨年度はテーマが定められていたが、その前の年度までは特に定められていなかった。今年はどうなっているのか。

事務局：高橋主査

今年は特にテーマは定められておりません。したがって、全体的に検討していただきたい。

大信田会長

ということですが、みなさん何かありませんか。手元の資料を見た限り、現在の状態が良くなく、改修すべきであるといった内容のものと将来的にこうあるべき、といった内容のものに大きく分けられるような感じがする。どちらに軸足をおいて提言すべきか、といった点を含めて、再度ご説明ください。

たとえば、川口溪谷の横沢バチ沢線についてですが、何十年かかって当初計画の岩手県と秋田県を結ぶ路線として検討するように働きかけるのか、それともただ単に崩れた土砂の撤去をお願いするのかといったところをご説明ください。

鈴木支所長

会長がおっしゃるとおり、この路線の本来の目的は奥地産業開発であり、岩手県とを結ぶ路線であったが、現在計画は休止となっていて、現実的にこの後再開することはないものと認識している。

この路線は市道であり、他地域の市道整備と同じテーブルにあげられた場合、生活道路ではないため、優先順位は著しく低くなっている現状であったことから、この春、市長からは市道としてよりも別次元の考え方をして、観光用として整備していくことが望ましく、遊歩道と位置づけるべきとの考え方が示されました。以前まではこの路線は、手をかけない意向が示されていたが、このたびは遊歩道としての整備に向かえと、指示が前進したこともあり、その方向で進みたいと考えています。そうしたところで皆様のご意見を賜りたいということです。

大信田会長

ただいま支所長から詳しくお話していただきましたが、みなさんからなにかありませんか。

大信田孝文委員

市長から遊歩道として整備すべきという意向が示されたとのことでしたが、遊歩道として整備するといってもかなりの安全対策が必要であると感じられます。

倉田良子委員

市に対して提言するときにあたって、これが今必要であるという参考事項が示されたものであり、大事なことであると思います。とりあえず遊歩道としてある程度でも着工することが大切であり、良いところだ、すばらしいところだという認識を私たちが持たなければならぬと思います。通行できる場所は学校の授業の一環で「オブ山の杉」に気軽に行けて、子どもたちの誇れる財産として自然のすばらしさに触れることができた。

そうしたことから、限られた財源の中でできる最低限の整備で安全を確保する最良の方法を検討すべきだし、まずは取り掛かるべきだと思う。他地域に誇れるものを訪れることができるよう、提言として取り上げるべきだと思います。

もう一点の観光施設の維持管理についても利用者の利便性の点にクローズアップし必要かどうかをしっかりと判断していき、提言のひとつとしても良いのではないかと思います。

大信田会長

事務局から示された資料を基に提言を検討していくとした意見のようでした。次回以降の協議会で検討する機会もあるようですが、現時点で考えていることがあれば出していただいて、次回以降で検討する材料とすれば協議がスムーズに進むのではないのでしょうか。

田口誠毅委員

市の中で太田地域は現在どのような位置付けとなっているか、また5年後はどうなっているかと考えていけばよいのではないのでしょうか。太田は5年後も市内での位置付けはそれほど変わってはいないのではないかと思います。

市の中で唯一、奥羽山脈の大自然に触れ合える環境を持った地域であり、そうした環境を今後も継続していってもらいたい。

また、大台スキー場からの田園風景といった景観にも代表されるように農業を主体とした地域の資源を大切にしていき、大仙市の中

でも特筆すべきものであり、観光資源にもなりうるものと思いますし、豊富な自然とともに大事にしていてもらいたい。地域の特色を生かし、大仙市の宝としてきちんと整備してもらいたい。

また、観光拠点の施設整備の点については、統合や改修など洗い直しは必要であると感じられます。

大信田会長

検討するにあたっての考え方といったことで、発言をしてもらいました。ほかの委員で同じように考え方をお話ししていただきたいのですが。

高橋文子委員

私が住む地域では、空き家がところどころに見られるようになり、冬などはいつも危険だと感じている。また一人暮らしの高齢者宅もかなり増えていて、その方々が今後亡くなられた場合空き家となることであり、親族等で管理できる環境であればよいのですが、そうでない家のほうが多いと思います。

それらの空き家を片付けていくといったことまで私たちは踏み込むことはできないかもしれませんが、そうしたところにも目を向けて行ってもらいたい。

倉田良子委員

高橋委員がおっしゃったとおり、大仙市全体的にそうした傾向にあるようです。少子高齢化の中、市としても「住生活基本計画策定委員会」が策定され、私がこの協議会を代表して策定委員となっています。先日委員会が開催され、そこでも市全体の問題であり、市の現状を把握しながらどうすべきだろうかといったことなどが話し合われました。高橋委員が心配されているように現在一人暮らしの世帯が今後空き家となった場合、私も不安であり心配されることですが、市としても今年度から力を入れてきているということを知っておいていただきたい。地域協議会はこうした地域の変貌する様子を感じ、それぞれの目線で感じたことを話し合う場だと思うので、みなさんから今後も積極的に発言していただきたくようお願いしたいと思います。

草彅太郎委員

私も小規模集落コミュニティ対策検討委員に選定され、委員会に出席しています。高橋委員がおっしゃった空き家についてですが、集落の力が落ち、都会で暮らさなければならなくなり、残されたのは高齢者のみでやがて空き家になるといったケースが大仙市で多

いことがこの会に出席してわかりました。

ここ太田地域では小規模集落はないとのこと。これは限界集落といった考え方で集落の高齢化率が50%を超えた集落が限界集落となるもので、この「限界」という表現があまりにもストレートであり大仙市では「限界」でなく「小規模」という表現にしたようです。

太田ではこうした集落はありませんが、市内では南外、西仙北、協和などでは対象となる集落があり、今年度から国の制度を利用して集落支援員を配置するようです。これにより直接的に集落の高齢化率が下がるとかといったことはないのですが、集落の集まりなどに参加し、集落の連帯感を高める支援をするようです。

太田では昔から農村地帯であり、機械化が進む前は結いっことって隣近所仲良くしていなければ農作業ができないこともありましたが、最近は希薄になっているようです。

形のあるものばかりでなく、そうした集落の活性化や連帯感を高めるような取り組みも提言の中に盛り込んでもらえればと感じております。

大信田会長

次回までに各委員から提言の提案をしていただくための考え方として発言をいただきたいと思います。ほかの委員からご発言いただけますか。

ないとすれば、当地域協議会も昨年度から新たに委員になられた方もいらっしゃるので、私から少しお話をさせていただきます。

数年前に非公式な形ではありましたが、真木の関根にある頭首工を嵩上げし、斉内川の治水対策と流量調整を図るといったことを市長と意見交換した経緯があります。そのとき市長は、おもしろく、夢のある話だとはお話しされましたが、具体的に進捗する感じではありませんでした。

しかしその後、今から2週間ほど前ですが、まったくプライベートな場でしたが市長と話しする機会がありまして、そのとき市長から関根頭首工の嵩上げの件をもう一度話題として出してみないかと話しされました。

この件については長期的視野に立ってのことであり、将来的につかといったことでもありますので、先ほどから話題に上がっている横沢バチ沢線についてもただ単に改修して通行できるようにするだけでなく、当初計画であった岩手県側との開通を目指していくな

鈴木支所長

ど、長期的考え方もあるのではないかと思います。

また、頭首工の嵩上げの件は真木溪谷への観光誘客を図ることも含めた考えですので、さらに訪れた観光客がとどまるような施設整備が必要だなどの提案も提言を出す際の一つの考え方としていけばよいのではないかと思います。

支所長から各委員から出されたお話しの中でこれは考えていくとか、これはちょっと当面は難しいといった考え方をお示しいただきたいのですが。

専門外のこともあり、私見も大いに含んでおりますが、ご了解ください。

初めにスプリング・レビューについてであります。毎年市長と各地域の主要課題について協議する場所ということで行っているものです。

1点目の太田地域の観光拠点施設の改修についてであります。これまでも太田地域では、さまざまな都市との交流事業を各観光拠点で行ってきましたが、それら施設が老朽化しており、更新や改修が必要となっております。

大仙市の将来像である「人が生き 人が集う 夢のある田園交流都市」の実現に向けて、太田地域は恵まれた自然環境やこれまでに整備したりっぱな施設等により市の拠点となれるのではないかとという考えのもと、これら施設の改修事業について市長と協議したものであります。

スプリング・レビュー当日の手ごたえとしてはあまり良いものではありませんでしたが、こうした基本的な考えのもと施設のレベルを落とさないよう、継続して協議していきたいと感じております。

次に横沢バチ沢線の件についてですが、市としては安全が確保されていない市道を通行させるわけにはいかないということで、これまで全面通行止めとしておりましたが、市を代表する景勝地であり、また、市民からも開通の要望もあり、これまでも協議を重ねてきました。市長からも通常の市道整備としてではなく、観光道路として位置付け、開通に向けた整備を推進していくことで理解を示していただきました。

建設課で、県の専門的な立場の方に相談しながら、最低限必要な安全の確保対策整備を検討し、少しずつでも整備をしながら通行できるように方向付けしているところであります。

空き家対策やコミュニティ対策については、本庁各課で取り組みを推進している状況であり、本庁各課と連絡を密にしながら地域の実情を反映させて推進していきたいと存じます。

最後に水道事業についてであります。当時、アンケート調査によって意向を確認したところ、太田地域では必要としていないという結果でありました。やはりこの地域は水に恵まれており、各自の井戸で足りている状態であることで、このような結果であったと思われませんが、市内で公共上水道が整備されていない地域は太田地域だけあります。上水道の整備は市全域で施行する計画であり、そうしたことから会長さんに市長がお話しされたのかもかもしれません。かなり私見が入っておりますが、よろしく申し上げます。

大信田会長

ありがとうございました。委員の皆さんや支所長からお話しされたことをあわせて、次回以降の協議会で提言についてご検討いただきたいと思います。

次に地域枠予算の執行状況について、事務局から説明をお願いします。

事務局：高橋主査

資料により説明

【青少年健全育成及びまちづくり、交通安全啓発看板改修】

【ナチュラルガーデン整備事業】

【第1回協議会で説明の「上南集会所の敷地舗装事業」の中止】

大信田会長

2事業について説明をいただきましたが、委員の皆さん、ご了解いただけるでしょうか。ご了解いただけるようですので、次にその他「太田交流の森のライトアップ」について、事務局から説明をお願いします。

事務局：高橋主査

各事務事業を一から見直し、経費の節減につなげるため、太田交流の森(大台スキー場)の頂上付近の展望台地点のライトアップの必要の是非について、地域協議会の意見を諮問するもの。資料に基づき説明

大信田会長

昨年度最終の協議会で話題提供し、それぞれの集落等で話題としていただき、住民のみなさんの意見を聞いていただくことで、お願いしてありました。今回、地域協議会の総意として結論を出してほ

しいとのことでもあります。どなたか発言していただけませんか。

福原榮司委員

集落内の会合の席で話題として出してみましたところ、長年太田のシンボルとして行ってきたことであり、これからも続けてほしいとの意見が大方でありました。こうしたことよりも行政として抜本的に見直しを行って効率化をはかることはいくらでもあるのではないかといった意見もありました。

なお、私としても同意見であり、継続してほしいと思います。

大信田会長

ありがとうございました。委員個人だけの意見でなく、地域の皆さんの意見を聞いてきていただきまして、たいへんよかったです。ほかの委員のみなさん、意見はありませんか。

倉田良子委員

私も周辺の方に聞いてみたところ、自分以外のみなさんは反対意見が多かったと感じました。

ただし、私も含めてですが、意向を聞いたみなさんはどれほどの経費がかかっているかが気になっているようでした。このくらいの経費であれば、廃止する必要はないように感じられるのですが。

野中シゲ子委員

山沿いに生活している私にとって、地域外に出かけた際、帰宅するときにあの明かりを見ることでホッとして帰ることができるような気がするので、これからも続けてほしいと願います。

大信田会長

これまでの各委員からの発言をまとめてみれば、地域のシンボルであり、これからも続ける方向のようですが。特に反対だ、という意見がなければ、太田地域協議会としては継続して点灯することで意見を集約したいのですが、いかがでしょうか。

【反対意見なし】

それでは太田地域協議会では、継続して点灯することとして意見を集約させていただきます。

それでは次に、今後の事業計画について、事務局から説明をお願いします。

事務局：高橋主査

【地域づくり講座】・【市長との懇談会】・【太田の秋まつり】・
【東部地区地域協議会委員合同研修】の日程等の説明

大信田会長

ありがとうございました。委員の皆さんからなにか質問等はありませんか。

【質問等なし】

ないようですので、これで第2回地域協議会を終了します。長時間にわたり、ご協議いただきましてありがとうございました。

この会議録の記載が真正であることを保証するため、ここに署名・捺印する。

太田地域協議会会議録署名委員

委員 大信田 孝 文

委員 草 薨 太 郎